

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなの家'77		
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の全体的な評価(保護者等向けの評価表は④以外の項目で「はい」と回答した人数が多い)	利用児童の様子や支援の内容について、保護者との情報共有だけでなく、担当の相談支援専門員や学校のコーディネーターとの情報共有をこまめに行っている。	「いいえ」と回答した人数が多かった④の項目に関する分析を行いたい。ただ、「…そういう内容を求めているので問題ないです。」とご回答いただいた保護者があり、ニーズがないとも言えるかもしれない。
2	満足度に関する3項目はいずれも24回答者中23人以上が「はい」と回答し、他の項目と比べて好意的な意見を寄せていただいている。	法人の音楽療法の理念「音楽を使って楽しくリハビリ、そして生きる喜びを！」の下、楽しい時間を利用児童が過ごすことを大切にしている。そのために、職員の支援技術云々よりもまずは職員と利用児童1人ひとりの信頼関係を築くことを意識している。	職員と利用児童との相性もあるが、できる限り多くの職員が利用児童にとって拠り所となれるよう、引き続き信頼関係の構築に努めたい。
3	環境・体制整備に関する従業者の評価が高いこと。	広い空間や、部屋を2つに区切ることができることを生かし、マンツーマン対応が必要な児童や静かに過ごしたい児童にとっても快適な環境づくりに努めている。	曜日によって手薄になりやすい曜日は、職員の増員を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の機会や保護者同士・きょうだい向けのイベント等、利用児童の家族の交流機会が少ないこと。	これまでそういった機会創出の実績がなく、また、職員の業務負担に余裕がない。	職員の研修に保護者等にも参加していただけるようにして、ペアレント・トレーニングを兼ねた保護者同士の交流の機会にする。
2	関係機関や保護者との連携に関して、「はい」と回答した従業者の割合が少なく、「わからない」と回答した従業者が多かったこと。	常勤職員よりも非常勤職員の人数が圧倒的に多い組織のため、常勤職員が行っている業務の認知度が低い。	特に関係機関との連携が必要な児童について、個別支援計画に連携の方法や頻度などを具体的に記し、職員1人ひとりの個別支援計画の理解度やリテラシーを高めていくような取り組みが必要。
3			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年03月31日

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス みんなの家77 ハーモニー 対象人数(保護者) 37人 回答者数 24人 回収 55.8%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		1	何人の子どもに対して何人の職員さんが見てくれている、というのは何処か出ているのでしょうか？
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	24				
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1			
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	24				その日の身体の状態に合わせた支援、表情や反応のやりとりによる職員の方や友達との関わり等を大事にした個別支援計画が作成されている。
	8 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24				ピアノを弾いている職員の方と友達とそばに自ら寄り、手を叩きながら笑顔で音楽を楽しんだりしている。
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		4	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	7	10	行っていませんが、そういう内容を求めているので問題なくこういった機会をあまり提供できていないのが現状ですが、ご希望がありましたらお寄せいただけますと幸いです。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1		1	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23			1	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)(※5)等や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	4	6	今後はそのような機会を作っていくように講じてまいります。
	15 日語からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	24				[HUG]の連絡欄に利用日の週の学校や家での様子や体調を、サービス提供記録欄に活動の様子等が記入され、互いに情報を交換している。利用時の連絡を保護者側が忘れてご迷惑をお掛けしています。
保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1			定期的に面談は行っていただいているが、状況を教えてもらっている感じで動員はいただけていないです。相談すれば乗っていただけると感じます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	15	4	2	3	きょうだい向けのイベントは行われていないと思います。保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだい同士の交流の機会はない
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて通知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3		3	クリスマス会で子どもが自ら楽器を鳴らそうとしなかったことに関しての見解や練習段階の様子、その楽器を選んだ経緯について、職員の方と保護者間で説明や意見交換がなされた。特にこどものことは深刻な相談をしたことがないため不明ですが、相談したら聞いてもらえる雰囲気スタッフの方々です。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			1	子どもは限られた言葉しか話せないが、表情や反応、身体の動きから子どもの意思を読み取っている。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24				2ヶ月に一回写真付きの便りやInstagram、Instagramに様子を載せて頂いているので、他のお子さんの様子も知ることができて嬉しんでいます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			1	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24				保護者会の際詳しく説明をしていただいています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			1	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1			
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			3	事業所内での怪我が発生した際、状況を説明し、怪我防止のために子どもが伸びていないかチェックするよう連絡があった。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	24				帰宅後に心が満たされているのがよくわかります。必要な配慮もしてくださり、本当にいつも感謝しております。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	23			1	とても楽しみにしています。下校後、送迎車に乗車することもスムーズになり、職員の方や友だちとの関わりが少しずつ広がっている。とても楽しく通所して、利用日ではない日も行きたくっています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	23	1			得意とする曲を聞かず楽器だけでなく、リトを使う楽器も手触りをリラックスさせて、演奏に必要な筋力を程よく使えるよう支援してくれる。専門的な知識と経験を生かし、子どもその日の心身の状態を観ながら、友達や職員の方とのやりとりを大切にしてくださっている。音楽のプログラムは毎回曲や楽器が異なるので、楽しく参加している様子。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすい、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の提供と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で実行している取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する子どものことについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するコメントを通じて、総合的な支援方針や目標設定が達成可能、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上で必要な事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所日々の活動の中で、一定の目的を持って行われる様々な活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて適切に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容を促すことを目標としています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みんなの家'77		公表日 2026年3月31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2		曜日による。グループで遊びづらい子どもたちのため、スタッフがマンツーマンで遊ぼうとするのと一人ぼっちで、ぼーっとしてしまう子がいる。そういうときに工夫が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			楽器を仕切りでかくしているので気になってしまっている。仕切りを突破しようとするのでヒヤヒヤする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		第3者評価や保護者会を開催している。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			支援スキル向上のためのロープレなど、できることはたくさんありそう。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			メロディ(当法人の運営する別の放デイ施設)と比べると、個々の裁量に任されている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			18:30上がりのスタッフさんがいてバタバタする。可能であれば19時提示にして、じっくりミーティングしてもいいのでは。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		できていると思うが、問題行動に対する対応が学校ともう少しすり合わせができればいいと思う。

機関 や 保 護 者 と の 連 携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		わからない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		わからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		わからない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		わからない
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		わからない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている	6			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			わからない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			わからない	